

奄美大島5市町村 共同メッセージ
～「奄美大島コロナ警戒レベル」“5”から“4”への引下げに際して～

令和3年4月30日に「奄美大島コロナ警戒レベル」を最大の5に引き上りましたが、この度、奄美大島新型コロナウイルス対策本部会議において、5月31日付けでレベルを4に引き下げることを決定いたしました。

4月には奄美大島では初めてとなるクラスター（集団感染）が発生し、多くの方々が新型コロナに感染されました。感染された方々に対してお見舞い申し上げますとともに、現在も療養中の方々の一日も早いご快復をお祈り申し上げます。

これまでの間、市町村による公共施設閉館措置等にご理解をいただき、感染防止対策に取り組んでいただいた全ての住民の皆様、県による時短要請へご協力をいただいた飲食店をはじめとする事業者の皆様に、心から感謝申し上げます。

また、緊迫する医療体制を維持するためご尽力いただいた医療関係者の皆様、島外搬送にご協力いただいた海上保安部及び自衛隊の皆様に対し、衷心から敬意を表します。

この度のレベル4への引下げは、クラスターに関連する感染拡大の収束等により、先にお示しした「警戒レベル」におけるレベル5の状態を脱したと判断したものであり、奄美大島でも感染リスクが高い状態にあることは変わりありません。

レベル5への再引上げを防止するため、皆様には引き続き感染防止対策への取組にご協力をお願いいたします。

今回の大規模な感染拡大に伴い、本土の医療機関等へ搬送されることがありました。搬送された方々はもとより、ご家族の皆様も含めた身体的・精神的な負担は計り知れないものがあり、そのご労苦を拝察するところです。

これから台風シーズンを迎えようとする奄美大島では、重症化した場合の本土搬送について、天候の理由により即時対応できないことがあることも想定されます。

島に暮らす私たちは、このように本土とは異なる離島ならではの状況があることも念頭に新型コロナと向き合い、「かからない」「うつさない」ための取組を継続してまいりましょう。

県内でも広がりを見せている「変異株」については、感染力が強く、年齢を問わず重症化リスクが高いことや、無症状から有症状への急変などの特徴がございます。

感染力の強い変異株による感染を防止するためには、これまで以上の感染防止対策が必要となります。

マスクの着用についても、しっかりと鼻を覆ったうえでマスクと顔の間になるべく隙間を作らないように着用することや、屋内においては換気を十分に行うことなど、一つひとつの対策を改めて徹底していただきたいと思います。

また、感染拡大を防止するためには、感染が疑われたら、早い段階で「人との接触機会を避ける」ことが重要です。このため、少しでも体調の変化を感じたら、ためらわずにかかりつけ医等にご相談ください。

このことは、ひいては職場や学校、地域を守ることにつながりますので、事業所におかれましても、体調に変化を感じる従業員にはかかりつけ医等への相談を呼びかけるなどのご協力をお願いいたします。

令和3年5月31日

奄美市長	朝山 毅
大和村長	伊集院 幼
宇検村長	元山 公知
瀬戸内町長	鎌田 愛人
龍郷町長	竹田 泰典